



令和 7 年 3 月 2 4 日
釧路開発建設部

第 3 8 回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和 7 年 2 月 2 8 日（金）に開催しました第 3 8 回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

技術管理課 課 長 樋口 飛鳥 電話：0154-24-7147

技術管理課 課長補佐 青山 英志 電話：0154-24-7174

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



第 3 8 回 釧路開発建設部総合評価審査委員会審議概要

開催日・場所	令和7年2月28日(金) 釧路地方合同庁舎 5階 共用会議室	
委員	委員長 草薙 敏夫 (独立行政法人国立高等専門学校機構釧路工業高等専門学校名誉教授) (公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター専務理事) 岸 徳光 (国立大学法人室蘭工業大学大学院特任教授) 宮森 保紀 (国立大学法人北海道大学大学院工学研究院教授) 宗岡 寿美 (国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学教授) 山本 泰司 (学校法人北海道科学大学教授)	
議 事	1 報 告 (1) 「釧路開発建設部 総合評価落札方式及びプロポーザル方式の実施状況」 2 審 議 (1) 工事における総合評価落札方式の実施結果について ①一般国道44号 根室市 温根沼大橋補修外一連工事 ②別海北部地区 別配10号用水路末端施設工事 (2) 業務における総合評価落札方式の実施結果について ①一般国道44号 厚岸町 尾幌糸魚沢 糸魚沢橋梁予備設計外一連業務 ②十勝港静穏度解析業務	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意 見・質 問		回 答
【1 報 告】 (1) 総合評価落札方式及びプロポーザル方式の実施状況について ・業務において技術者育成型（若手・緩和）試行に参加された技術者の平均年齢を教えてください。		・業務全体における技術者の平均年齢は50代後半であるが、技術者育成型（若手・緩和）試行には40代の技術者の参加があり、平均年齢は50歳前後となる。
【2 審 議】 (1) 工事における総合評価落札方式の実施結果について (抽出された2件の工事について、概要説明及び審議を行った。) ① 一般国道44号 根室市 温根沼大橋補修外一連工事「一般競争入札（施工能力評価型Ⅰ型）」 ・支承補修工が1箇所となっているが、支承1基だけ老朽化が進んでいたのか。 ・温根沼大橋が建設されてから何年経過しているのか。また、前回の補修工事は、いつ頃行われているのか。 ・床板補修は、どの程度の補修を行うものか。 ・当該工事での留意事項等において、床板補修における品質管理についての評価基準を、コンクリートの打設、打継目処理に関する提案としているのは、工事内容と噛み合っていないのではないか。		(以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しない。) ・その通り。 ・温根沼大橋は平成7年に完成しており、約30年経過がしている。点検は5年に1回実施しており、問題があれば補修を行っている。前回の補修年次は手元に資料が無いためお答えできない。 ・コンクリート床板に発生しているクラック等を補修するものである。 ・床板補修工には、「断面補修」や「剥落補修」も含まれているためである。

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意 見・質 問	回 答
② 別海北部地区 別配10号用水路末端施設工事 「一般競争入札（施工能力評価型Ⅰ型）」 ・配水調整槽を二次製品ではなく、現場打ちコンクリートを採用している理由を教えてください。 ・受益者負担の割合を教えてください。 ・スラブの厚さは何センチか。 ・「情報化施工技術の活用」にかかる評価方法は、企業側から申請された情報化施工の内容を見て、評価を行っているのか。 ・当該工事においてICT施工は、どの工種で行われているのか。 (2)業務における総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果について (抽出された2件の業務について、概要説明及び審議を行った。) ① 一般国道44号 厚岸町 尾幌糸魚沢 糸魚沢橋梁予備設計外一連業務「簡易公募型プロポーザル方式」 ・随意契約としている理由は何か。 ・橋梁の予備設計とは、一般的にどの程度までの設計を行うものなのか。 ・技術提案採点表に、その他「②有益な代替案がある場合に評価する」とあるが、発注者側から基本案を示した資料を提示しているのか。 ・事業概要の説明で添付している平面図は、発注者側が提示したものか。それとも予備設計の結果として出てきた図面であるのか。	・施工場所の地下水位が高いことから、浮力に抵抗するため自重が重い現場打ちコンクリートを採用している。 ・受益者負担は5%です。 ・40～50cmです。 ・その通り。 ・主に土工の掘削作業でICT施工が行われている。 (以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しない。) ・プロポーザル方式では、技術提案等の評価により1社に特定してから契約を行うため、随意契約となる。 ・予備設計は詳細設計の前段に行うもので、地形等による設計条件の設定、橋梁形式の比較検討などの結果を基に、概略設計までを行うもの。 ・地形、地質条件などの与条件と公示用設計書を提示している。 ・本業務で作成した図面を添付している。

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意 見・質 問	回 答
② 十勝港静穏度解析業務 「簡易公募型競争入札（総合評価（標準型））」 ・調査位置が十勝港であるが帯広開建には港湾部門が無いのか。 ・本業務に若手育成型の試行を適用した理由を教えてください。 ・技術提案の評価が「実施方針」と「評価テーマ」に分かれているが、「実施方針」は各社遜色無く記載がされており評価点に差が付き難いので、「評価テーマ」の配点割合を多くするなどの工夫が必要ではないか。 ・静穏度の解析は、どの様に行うのか。 【上記、工事・業務について適切な評価と認める。】	・平成30年度から十勝港の整備を釧路開建で担当している。 ・港湾部門で発注する業務全体を見た中で、難易度など総合的な判断により、本業務を若手育成型の試行に選定した。 ・プロポーザル業務であれば、技術提案の評価点に差が付かないと落札者の特定に影響を及ぼすが、本業務は入札価格の評価を含めた総合評価であるため、技術提案の評価点の差が小さくても、入札価格評価点と合わせて評価が可能である。 ・静穏度の解析用ソフトを活用し、条件の設定等を行い解析する。 以 上